

カフェマスター研修会(第4期)が始まります!

カフェ・マスターに挑戦してみようと
お考えの方、地域や事業所でカフェ運営
を予定している方、認知症について学び
たい方、どうぞご参加下さい。
(出席できる回だけの参加で大丈夫です)

全5回 会場 カフェ・オレンジ
時間 14時~16時
(2月2日のみ、終了は16時30分)



① 1月21日(土) 認知症と生活習慣病との
関連を学びましょう!

講師:産業医科大若松病院 魚住武則先生
② 2月2日(木) このまちが好き!ずっと
ここで生きるために(2講座)

・まちの持続 講師:映像作家 荻野衣美子氏
・ふるさと八幡で障がいを持つ人々と
向き合おう

講師:NP法人 わくわくく 小橋祐子氏
③ 2月13日(月) 低栄養にならないために

講師:福岡県栄養士会 長江紀子氏
④ 2月23日(木) 認知症の薬を知ろう!

薬剤師さんと仲良くなろう!
講師:小倉薬剤師会 森康弘氏

⑤ 2月27日(月) 認知症を進めないために
お口の問題をチェック!

講師:摂食・嚥下リハ在宅療養認定歯科衛生士
神崎美奈子氏

◇当日の参加もお受けしますが、資料準備の関係で
可能なら、事前のお申込みをお願いします。
◇お問い合わせは、事務局中村へ

電話 090 29608 9463

「男も女も!おばちゃんプロジェクト!」

11月下旬から地域のカフェや居場所の調査を始め
ました。地域にカフェを広めることも「カフェ・オレンジ」
の役割の一つだからです。
そこで気づいたこと。うまく廻っている居場所やカ
フェを支えているのは「おばちゃん力」です。どこの運営リ
ーダーも抜群の「おばちゃん力」の持ち主。そして最近
「男のおばちゃん」の存在にも着目しています。言われ
た相手は目を白黒させますが、これは「最大級のほめ
言葉」なんですよ。

以下「男のおばちゃん」の定義!

- ① おばちゃん集団の中に「黒一点」で混しても違
和感なく同化している。
 - ② いつもここに「こ」していて「俺は男だ」的な自己主
張はしない。
 - ③ さり気ない気配りができている。
 - ④ 結構意見も言っているが、声を上げるタイミン
グがよく説得力もあるので、誰も異を唱えな
い。
 - ⑤ 実は居場所のキーマンである。
- 「おばちゃん」がもつと増えると、居場所づくりやカ
フェ運営はきつとうまくいく!居場所やカフェは、地域
包括ケアシステムの潤滑油。これからますます重要に
なってくる仕組みです。
- 「男も女も!おばちゃんプロジェクト」はただいま準
備中で、3月下旬から開始予定です。地域の居場所つ
くりに関わっている皆さんに「意見を頂きなごら、た
くさんの「おばちゃん」&「男のおばちゃん」の輩出を目
論んでいます。皆さんの周りの「男のおばちゃん」目撃
情報も是非お寄せ下さいね。

閑話休題

昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞された東
京工業大学名誉教授の大隅義典さん。その兄の
大隅和雄さんは、これまた日本屈指の歴史学者
で思想家である。弟の受賞を受けての、新聞
社のインタビュー記事を拝読した。

福岡県生まれ。父は鉱山学者の大隅芳雄さん。
和雄さんが、歴史学者になったことを父上はよ
しとしなかったそうで、その申し訳ない思いも
込めて、弟の義典さんには努めて理系の書物を
読むように仕向けたそうである。義典さんは多
くの書物に興味を示して、たくさんの知識を吸
収するが、とりわけ愛読したのは、イギリスの
科学者マイケル・フアラデーの「ロウソクの科
学」だったとのこと。

実はこの本に、私自身は苦しい思い出がある。
小学校5年生のときだったか、父親から渡され
て、読むように薦められたのだが、途中でリタ
イアし、本棚の背表紙と暫く「にらめっこ」し
ては胃痛になっていた。それから今に到るまで、
時空と国を越えて(1986年出版)愛読され
ている本に大変申し訳ないことをしたままなの
だ。年月を重ね、少し視野が広がると、今まで
受け入れられなかったものに改めて向き合っ
てきたりする。

「ノーベル賞受賞へのいざないだったのかも
しれない本」を、改めて手にしてみようか...
と今思っている。(ま)



カフェオレンジへの協賛ありがとうございます

江藤 みどり 様

七隈校区社会福祉協議会様